

1. 略歴

- 1988年3月 東京大学文学部国文学専修課程卒業
1988年4月 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学修士課程入学
1991年3月 同 修了
1991年4月 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学博士課程進学
1996年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学
専門分野博士課程単位取得退学
1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学
専門分野研究生（～1997年3月）
1998年4月 博士（文学）学位取得（東京大学）
1998年4月 関西学院大学文学部専任講師
2002年4月 関西学院大学文学部助教授（2007年4月より准教授）
2008年4月 関西学院大学文学部教授
2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 著書

- 『源氏物語の思考』風間書房、2002年3月、444 p.
『女から詠む歌 源氏物語の贈答歌』青簡舎、2008年5月、212 p.
『男読み 源氏物語』朝日新書、2008年7月、250 p.
『コレクション日本歌人選 和泉式部』笠間書院、2011年7月、124 p.
『平安文学でわかる恋の法則』ちくまプリマー新書、2011年10月、207 p.

(2) 論文

- 「光源氏像の変貌——賢木巻から薄雲・朝顔巻へ——」『国語と国文学』70巻2号、1993年2月、pp.15-28
「物語の「世」について——柏木巻の巻頭を中心に——」『むらさき』31輯、武蔵野書院、1994年12月、pp.28-39
「「後見」にみる光源氏と女たちの関係構造」『国語と国文学』73巻2号、1996年2月、pp.15-27
「夕霧と光源氏——光源氏の物語としての夕霧巻小考——」『中古文学』58号、笠間書院、1996年11月、pp.11-20
「玉鬘十帖論」『論集平安文学4 源氏物語試論集』勉誠社、1997年10月、pp.155-178
「第一部から第二部へ——柏木の造型の視座から——」『人物造型からみた『源氏物語』（国文学解釈と鑑賞別冊）』至文堂、1998年5月、pp.187-201
「『源氏物語』の成立についての断章——『伊勢物語』との照応から——」鈴木日出男編『ことばが拓く古代文学史』笠間書院、1999年3月、pp.371-386
「平安時代のことばと思考——「人」の語について——」『日本文芸研究』50巻4号、関西学院大学日本文学会、1999年3月、pp.47-66
「「思考」としてのことば——『源氏物語』の「名」について——」河添房江・神田龍身・小嶋菜温子他編『叢書想像する平安文学 第4巻 交渉することば』勉誠出版、1999年5月、pp.178-197
「かひなき」物語の系譜——『竹取』『古今』『源氏』にみる表現と精神——『人文論究』49巻2号、関西学院大学日本文学会、1999年9月、pp.1-14
「光源氏の出家願望——『源氏物語』の力学として——」『日本文芸研究』51巻3号、1999年12月、pp.1-21
「『源氏物語』と絵巻」『国文学解釈と鑑賞』65巻12号、2000年11月、pp.102-111
「「按察大納言」考——『源氏物語』の方法についての一視点——」『関西学院創立111周年文学部記念論文集』2000年12月、pp.57-71
「平安散文における「人」」『日本文芸研究』52巻4号、2001年3月、pp.31-50
「若菜巻発端の論理」『源氏研究6』翰林書房、2001年4月、pp.86-97
「『源氏物語』空蝉巻の巻末歌——『源氏物語』の生成過程についての一考察——」王朝物語研究会編『論叢源氏物語 3 引用と想像力』新典社、2001年5月、pp.29-57

- 「継子いじめ——『源氏物語』における継子譚の位相——」増田繁夫・鈴木日出男・伊井春樹編『源氏物語研究集成 第八巻 源氏物語における伝承の型と話型』風間書房、2001年10月、pp.199-226
- 「結婚—光源氏と紫上の関係の独自性」増田繁夫・鈴木日出男・伊井春樹編『源氏物語研究集成 第十一巻 源氏物語の行事と風俗』風間書房、2002年3月、pp.145-174
- 「光源氏の女君たちの最初の歌——代作される女君たち、自ら歌う女君たち——」『日本文芸研究』54巻4号、2003年3月、pp.1-17
- 「『古今六帖』による規範化の様相——「卯の花」歌を例として——」『日本文芸研究』55巻3号、2003年12月、pp.1-20
- 「古今集の「身」と「世」」増田繁夫・小町谷照彦・鈴木日出男・藤原克己編『古今和歌集研究集成 第二巻』風間書房、2004年2月、pp.205-240
- 「手紙から読む源氏物語」古代中世文学論考刊行会編『古代中世文学論考 第11集』新典社、2004年5月、pp.147-179
- 「『和泉式部日記』の物語的虚構化の方法」『日本文芸研究』56巻3号、2004年12月、pp.1-18
- 「古代語の「身」について——「身にあまる思ひ」考——」『人文論究』54巻4号、2005年2月、pp.15-30
- 「光源氏の物語としての源氏物語」『国語と国文学』82巻5号、2005年5月、pp.115-126
- 「伊勢物語の贈答歌」『日本文芸研究』57巻2号、2005年9月、pp.1-24
- 「女からの贈歌」『むらさき』42輯、2005年12月、pp.75-79
- 「源氏物語における「みやび」について」日向一雅編『源氏物語 重層する歴史の諸相』竹林舎、2006年4月、pp.395-419
- 「『源氏物語』における代作の方法」青山学院大学文学部日本文学科編『国際学術シンポジウム 源氏物語と和歌世界』新典社、2006年9月、pp.135-161
- 「源氏物語第二部における出家と宿世」日向一雅監修、藤本勝義編『王朝文学と仏教・神道・陰陽道』竹林舎、2007年5月、pp.455-474
- 「『源氏物語』「飽かず」考——物語展開の動因として——」紫式部学会編『源氏物語と文学思想 研究と資料 古代文学論叢第十七輯』武蔵野書院、2008年3月、pp.163-198
- 「花散里・朝顔の姫君・六条御息所の物語と和歌」池田節子・久富木原玲・小嶋菜温子編『源氏物語の歌と人物』翰林書房、2009年5月、pp.46-67
- 「源氏物語のからくり——反復と遡上による長編化の力学——」『国語と国文学』87巻4号、2010年4月、pp.17-32
- 「演技する文体——平安仮名文学における性差の意識——」『文学』11巻4号、岩波書店、2010年7月、pp.78-88
- 「匂宮・紅梅・竹河の三帖における薫出生の秘事」『京都語文』17号、仏教大学国語国文学会、2010年11月、pp.47-64
- 「『源氏物語』における「ことわざ」」『文学』12巻6号、岩波書店、2011年11月、pp.12-21
- 「平安仮名日記文学における虚構性」『日本文学』61巻1号、2012年1月、pp.2-11
- 「源氏物語における儀礼の歌」小嶋菜温子・長谷川範章編『源氏物語と儀礼』武蔵野書院、2012年10月、pp.635-650

(3) 書評・学界展望

- 「張龍妹著『源氏物語の救済』」『国語と国文学』78巻10号、2001年10月、pp.60-64
- 「菊田茂男編『源氏物語の世界 方法と構造の諸相』」『国語と国文学』80巻2号、2003年2月、pp.73-75
- 「日本における源氏物語研究」『日本研究』21号、韓国外国語大学校外国学総合研究日本研究所、2003年12月、pp.51-57
- 「研究史——朱雀院」「研究史——弘徽殿太后」室伏信助監修、上原作和編集『人物で読む源氏物語 朱雀院・弘徽殿太后・右大臣』勉誠出版、2006年5月、pp.335-349
- 「鈴木日出男著『源氏物語』人物造型覚書」角田文衛・片桐洋一監修『源氏物語と紫式部 研究の軌跡』角川学芸出版、2008年7月、pp.227-233
- 「源氏物語研究の現状と展望」『文学・語学』193号、全国大学国語国文学会、2009年3月、pp.48-53

(4) 学会発表

- 東京大学国語国文学会「宇治十帖の「後見」について」1993年11月6日、東京大学
- 中古文学会春季大会「夕霧巻の夕霧像」1996年5月12日、立正大学
- 関西平安文学会「『源氏物語』空蟬巻の巻末歌」2000年6月3日、大阪成蹊女子短期大学
- 第二回源氏物語国際会議「日本における源氏物語研究」2003年11月8日、韓国外国語大学校
- 全国大学国語国文学会冬季大会「シンポジウム 源氏物語研究の現状と展望」2008年12月7日、関西学院大学

(5) 受賞

- 第5回紫式部学術賞（社団法人紫式部顕彰会）、2004年5月

(6) その他

- 『源氏物語』 語句解釈・年立 瀬戸内寂聴『源氏物語巻一〜十』 巻末資料、1996年12月～1998年4月、(新装版 2001～2002年、文庫版2007年)
- 『源氏大学テキスト』(講談社) 執筆監修、1999年3月、2000年7月増補改訂
- 「波」「白浪」「鳴滝」他9項目解説、久保田淳・馬場あき子監修『歌ことば歌枕大辞典』(角川書店)、1999年5月
- 「落葉の宮」「柏木」「雲居雁」「夕霧」の4項目解説、林田孝和他監修『源氏物語事典』(大和書房)、2002年5月
- 「愛」「世」等約30項目解説、山口明穂・鈴木日出男編『王朝文化辞典』朝倉書店、2008年11月
- 『源氏物語の和歌小考』『つれづれ』(数研出版) 第15号、2009年4月
- 「原文を習ふ」『週刊 絵巻で楽しむ源氏物語』(朝日新聞出版) 全60巻の偶数号、2011年11月～2013年2月

3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

- 青山学院女子短期大学(1995年4月～1998年3月)
- 聖心女子大学(1997年4月～1998年3月)
- 鶴見大学女子短期大学部(1997年4月～1998年3月)
- 放送大学(1997年4月～1998年3月)
- 神戸大学文学部(2001年4月～9月、2008年4月～9月、2011年10月～2012年3月)

(2) 講演

- 『源氏物語』の成り立ち『源氏物語』の人間関係(瀬戸内寂聴「源氏大学99 大阪校」)1999年4月8日、22日、関西大学
- 「光源氏の出家願望」(瀬戸内寂聴「源氏大学99 札幌校」)、1999年9月3日、札幌プリンスホテル
- 「光源氏と継母」(瀬戸内寂聴「源氏大学2000」広島校)、2000年7月4日、中国新聞社ホール
- 『源氏物語』の魅力—光源氏の恋と政治—(池田銀行自然総研)、2001年3月19日、阪急ターミナルビル
- 「源氏物語の「花」」(第82回阪急文化セミナー「花の姿」)、2001年11月2日、阪急電鉄本社
- 「源氏物語を彩る和歌」その他(読売新聞大阪本社主催、第2回「源氏の世界を語る」リレー塾)、2007年7月1日、新神戸オリエンタル劇場
- 「源氏物語朗読」、2002年9月21日、大津市石山寺
- 『源氏物語』における手紙、2003年10月31日、京都府立図書館
- 「源氏物語におけるコミュニケーション」、2003年12月1日、芦屋市立図書館
- 「瀬戸内源氏と源氏物語」、2005年10月2日、宇治市源氏物語ミュージアム
- 「六条院のみやび」(文化庁・福井県教育委員会・越前市教育委員会主催第18回源氏物語アカデミー)、2005年10月29日、武生パレスホテル
- 「源氏物語—女と男、歌のかけひき—」、2007年6月7日、西宮市立越木岩公民館
- 「源氏物語への招待」、2008年5月14日、21日、川西市中央公民館
- 「源氏物語の魅力」、2008年5月16日、30日、高槻市北清水公民館
- 「源氏物語の世界—移ろいやすきは人の心—」、2008年6月5日、西宮市立越木岩公民館
- 「光源氏の生涯—人生の円熟を楽しむ—」、2008年10月22日、西脇市総合市民センター
- 「歌の織りなす源氏物語」(大阪私立中学高等学校国語教育研究会主催「読み・解き 源氏物語」)、2008年11月8日、ホテルアウターナ大阪
- 「源氏物語への招待—梅の花によせて—」、2009年2月17日、西宮市甲東公民館
- 「源氏物語への誘い」、2011年12月9日、16日、川西市明峰公民館

(3) 連続市民講座

- 大阪府医師協同組合日本文学講座(1999.3～2005.6、2008.4～2009.4)
- 読売日本テレビ文化センター新宿(1999.4～2006.8)
- 関西学院大学丸の内講座(2008.4～2011.3)
- 朝日カルチャーセンター新宿(2008、2009)
- NHK文化センター西宮ガーデンズ教室(2009.1～2011.9)
- 読売天満橋文化センター(2009.1～2012.9)
- 西宮市生涯学習大学宮水学園(2009.10～2010.2)、
- 関西学院大学梅田ゼミ(2009.10～2012.3)
- 兵庫県芸術文化協会(2009.4～2013.2)